

現代の欲望（1956）

メディア 映画

ジャンル

製作国 日本

色彩 B&W

初公開日 1956/06/22

【解説】

菊島隆三のオリジナル脚本を丸山誠治が監督。欲望の赴くままに生きてきた高利貸しが、すべてを失いながらも再び立ち上がるまでを描く。

飯塚公平が飛び降り自殺で命を落とした。異常なほど金に執着を見せる谷川宏は、闇金融で違法に金を稼いでいた。飯塚メリヤス工業の社長である飯塚公平の自殺も、谷川の高利貸しが原因だった。谷川は次のターゲットとなる昭和土地を訪れるが、そこで社長秘書の飯塚せつ子と出会う。せつ子は自殺した公平の娘だった。良心の呵責から、谷川はせつ子とその弟の新一の面倒を見るようになる。せつ子との結婚を真剣に考えた谷川は、飯塚家を訪れこれまでのすべてを告白。しかし一家は父親を死に追いやった谷川を許そうとはしなかった。

【クレジット】

監督 丸山誠治

製作 佐藤一郎

脚本 菊島隆三 Kikushima Ryuzou

撮影 山崎一雄

美術 北猛夫

清水喜代志

音楽 飯田信夫

出演 池部良

司葉子

太刀川洋一

久保明

青山京子

淡路恵子 Keiko Awaji

柳永二郎

進藤英太郎

三津田健

英百合子

村瀬幸子

千秋実

加東大介

左ト全